

本町を元気にしたい シリーズ～まちの中の達人～



最近、北池袋駅の周辺に新しいお店ができていることにお気づきでしょうか。その仕掛人のひとりの宇山大紀さんをお訪ねしました。

宇山さんは、池袋本町の人ではありませんが、縁があって北池袋駅の近くで不動産業を営んでいます。そしてそのかわり、ふれあいロード北池にポートフォリオというお店を開いています。ポートフォリオはカフェと貸ギャラリーのお店。週2回、絵画教室も開催しており、レンタルスペースとしても利用できます。

このお店は、以前は布団屋さんだったところを借りてリノベーションしたものです。宇山さんはこの店以外にも空き店舗を活用して本町を元気にしたいとお考えです。このような店舗には起業したい若者が興味を持つことが多いようです。「人」と「まち」をつなぎたいという思いで、意欲のある人に空き店舗を紹介しているそうです。

お店を開く人も、そのお店に客として訪れる人も、池袋本町以外の方も多くなっているようです。新しい人たちによって新しいまちの顔ができています。
(イラスト：井出幸子)



池袋本町 まちづくりニュース

Ikebukuro Honcho
Machizukuri News
No.65

2018年9月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会
http://池袋本町.net
豊島区都市整備部地域まちづくり課
問い合わせ先：
tel 03-3981-1464
fax 03-3980-5135
編集協力：防災アンド都市づくり計画室

(仮) 池本二丁目公園 計画について区長に提言

(仮) 池本二丁目公園計画検討会では、これまでの検討結果をとりまとめ、平成30年3月27日に高野区長に提言書を提出しました。

区長提言には、検討会から寺門会長、榊原副会長、加藤副会長、青山委員が出席し、高野区長に提言書を手渡し、計画内容を説明しました。この公園の敷地には2mもの高低差があり、それを活かして特長のある公園にしていること



や、近隣の意向もあってトイレは設置しないこと。また、災害時にも使いやすい公園として計画していることを説明しました。

高野区長からは、これまでの検討会の努力に対して感謝すると共に、住民が自ら検討した計画を尊重して、設計と工事を進めたいとお言葉をいただきました。トイレを設置しないことについても、この規模の公園ではユニークな試みだが、住民の皆さんの意向を最大限に評価したいとの感想をいただきました。

会員募集中

新しいまちづくりの会で
一緒にまちづくりをしま
せんか。参加をご希望の
方は事務局まで

青少年相撲大会

7月14日・15日に、毎年の夏の恒例となっている青少年相撲大会が行われました。池袋本町宮元青年会が主催のこの大会は、昭和48年から行われており、今年で45回目。歴史のある大会となってきました。

大会は初日に池袋地区の4小学校(池袋小、池一小、池三小、本町小)による学校別対抗戦が行われ、2日目には幼児、小学生学年男女別、中学生男女別の個人戦が行われました。今年、学校別対抗戦で優勝したのは池袋本町小学校。地元小学校の優勝ということでひときわ大きな歓声が響いていました。

会場の氷川神社境内には、大会に出場する選手の家族の皆さんも詰めかけ、子供たち

の熱戦に大きな歓声と拍手を送っていました。主催の宮元青年会の皆さんをはじめとして、かつてはこの大会に選手として参加された方も多くことでしょう。このようにして歴史は守られ、つながれていくのだということがわかる相撲大会です。



不燃化特区助成はあと2年

池袋本町地区では、木造密集市街の安全性を向上させるために、木密地域不燃化10年プロジェクトが行われています。その中で市街地の不燃化の促進をするために行われているのが不燃化特区です。不燃化特区では地区内で燃えない建物に建替える方に助成金を出しています。

不燃化特区は10年間の事業で、その期限は平成32年度までとなります。不燃化特区の助成を受けるためには、建物の工事が完成し登記まで行われなくてはなりません。したがって、平成32年12月くらいには工事が完成している必要があります。時間があるようでももう残すところ2年と少々という時期になってきました。設計や工事には時間がかかります。助成金を利用して建替えを計画されている方は、お早めに区へご相談ください。

つれづれに一言

仮称池本二丁目公園計画検討会会長 寺門孝史

この度の西日本における記録的な豪雨や地震、台風21号や北海道の大地震等により、甚大なる被害が発生している昨今、災害とは無縁と思われていた場所でも、災害が発生する状況になりつつあります。

災害に対し極めて脆弱な池袋本町地区では、東側には「池袋本町公園」「電車の見える公園」「小中連携校」といった防災面に考慮された公共施設があります。西側には、公園もなく池袋本町地区の安全性を高める為にも、この度、池袋本町二丁目に大規模な公園計画が進められる運びとなりました。

地域住民参加の「災害時に役立つ公園」「コミュニティを育み親しまれる公園」の検討会がなされています。池袋本町地区は不燃化特区や都市計画道路沿道まちづくりの計画もあります。池袋本町地区がさらに安全・安心に住める町となる事を願っています。

池袋本町二丁目の公園 実施設計へ

常設トイレは不設置を再確認

池袋本町二丁目の公園の提言書では、この公園にはトイレを設置しない方針です。近くの児童遊園にトイレがあり、トイレが不足している地域でないこと、近隣の方々から犯罪への危惧などの点で心配が強くよせられたことなどが理由です。

6月になって地元から、池袋本町では地域のイベントの時にトイレが不足しているの、公園利用者の利便性も含めて、もう一度トイレの設置について検討してもらえないかとの要望が検討会に寄せられました。そこで8月にご近所の方や検討会メンバーの一人ひとりにアンケートで意見をお聞きしました。

検討会では、トイレの設置に関する不安に配慮し、近隣住民からの反対の意向が強いことから、この公園には常設トイレを設置しないことを再確認しました。

ただし、イベントの時や災害時のトイレ問題については、地域や区、関係者等で解決に向けて取り組む必要があることも確認しました。

防災備蓄倉庫の配置や遊具を検討

この公園の大きな特徴は敷地の中に段差があることです。段差を利用してすべり台や芝段々とい

うスタンドのような階段などが計画されています。さらにその段差を利用して区の防災備蓄倉庫が設置されます。倉庫の位置と平面について検討が行われました。防災備蓄倉庫は細長くして、敷地の西側に移動することにしました。これによって、公園として使える部分が広がります。倉庫の屋上は緑化され、建物が公園の一部として目立たなくなるように工夫しています。

公園には主に幼児が利用する立体遊具とスプリング遊具が設置されます。また、背伸ばしや腹筋運動にも利用できる健康ベンチが設置され、子供からお年寄りまで楽しめます。

公園の名前募集

検討会では、公園の名称を検討します。10月のふれあいまつりの会場で名前を募集しますので、ふれあいまつりにおいでの際には是非ご応募をお願いします。

ふれあいまつりに参加できない方は、郵便やメール、FAXでも応募することができます。

宛先: 豊島区南池袋2-45-1

豊島区都市整備部地域まちづくり課

Eメール: A0022706@city.toshima.lg.jp

FAX: 03(3980)5135

締切: 平成30年10月末



点検パトロール 夜のまちあるき

新しいまちづくりの会では毎年2回、清掃点検パトロールを行っています。今年は「暗い道がある」という指摘を受けて、5月21日に夜のまち歩きを行いました。パトロールは3グループに分かれ、照度計で道路や公園の明るさをチェックしながら行いました。ほとんどの区道では必要な明るさは確保されていましたが、私道の中には暗い道があることがわかりました。



点検パトロールの様子



多くの道では必要な明るさは確保されています



私道には街灯がないところもあり、かなり暗くなっています



公園の中には暗いところもあります



街灯がなくても建物の灯りが道路を照らしているところもあります



本町小学校の北側には明るい照明が設置されています

ことしのふれあいまつり 縁台あそび 公園の名前募集

恒例の池袋本町ふれあいまつりに今年も新しいまちづくりの会が参加します。

昨年好評だった昔のおもちゃで遊べる「縁台あそび」を今年も行います。

また、池袋本町二丁目に計画中の新しい公園の名前を募集します。

ふれあいまつりにおいでの際は新しいまちづくりの会のブースも覗いてください。

日時: 平成30年10月7日(日)

~8日(祝)

会場: 池袋本町公園

